

## 山口県子どもの生活実態調査（抜粋）

### 1 調査の目的

本県における子どもと子育て家庭の生活実態を調査し、その結果を新たな計画の基礎資料や子育て支援策の検討資料として活用することを目的として実施しました。

### 2 調査対象と調査方法

本調査は、県内の小学校・中学校に通う小学校5年生・中学校2年生及びその保護者対象に、令和5年11月27日(月)～令和5年12月11日(月)に実施しました。

調査票は、小学校5年生用、中学校2年生用・保護者用の3種で実施しました。

### 3 配布・回収状況

調査対象区分		配布数	有効回答数	回答率
小学校5年生	子ども	2,126 票	1,976 票	92.9%
	保護者	2,126 票	1,975 票	92.9%
中学校2年生	子ども	2,016 票	1,853 票	91.9%
	保護者	2,016 票	1,850 票	91.8%

### 4 調査結果の算出方法等

(1) より実態に近い、県の人口の分布に合った調査結果を得るために、各市町の10歳と13歳の人口と回収数を基に設定したウェイト（重み）を実際に実施した調査結果に乗じて、調査結果を算出し、掲載しています。

(2) 「等価世帯収入別」と「世帯の状況別」のクロス集計を行っています。

○「等価世帯収入」については、内閣府の「令和3年子供の生活状況調査の分析報告書」の下記の内容に従い、3つに分類しています。

- ・年間収入に関する回答の各選択肢の中央値をその世帯の収入の値とする（例えば、「50万円未満」であれば、25万円、「50～100万円未満」であれば75万円とする。なお、「1000万円以上」は1050万円とする。）
- ・上記の値を保護者票で把握される同居家族の人数の平方根をとったもので除す。
- ・上記の方法で算出した値（等価世帯収入）の中央値を求め、さらに、その2分の1未満であるか否かで、「中央値の2分の1未満」「中央値の2分の1以上中央値未満」「中央値以上」の3つに分類する。

○「世帯の状況」については、保護者の回答を元に、以下のとおり区分しています。

- ・ふたり親世帯・・・「結婚している（再婚や事実婚を含む。）」
- ・ひとり親世帯・・・「離婚」、「死別」、「未婚」
- ・その他・・・「わからない」、「いない」、「不明・無回答」

## 《調査結果の概要》

### (1) 保護者の生活状況

#### ①世帯の年間収入

保護者票問19. 世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。  
(あてはまるもの1つに○)

世帯全員の年間収入(税込)については、全体では「500～600万円未満」が13.1%で最も割合が多く、続いて「600～700万円未満」(12.3%)、「700～800万円未満」(11.5%)となりました。

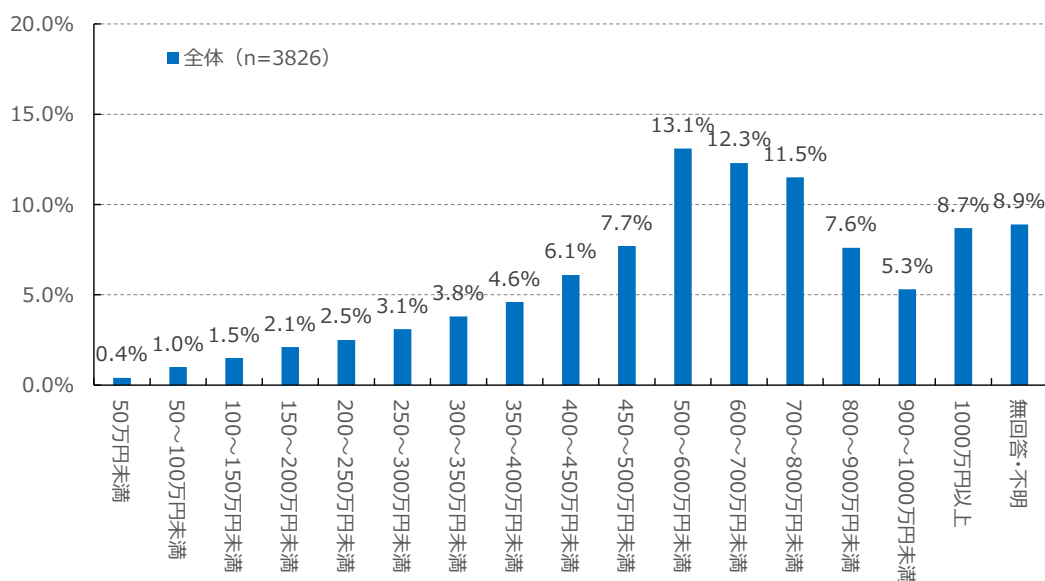


図1 世帯全員の年間収入(全体)

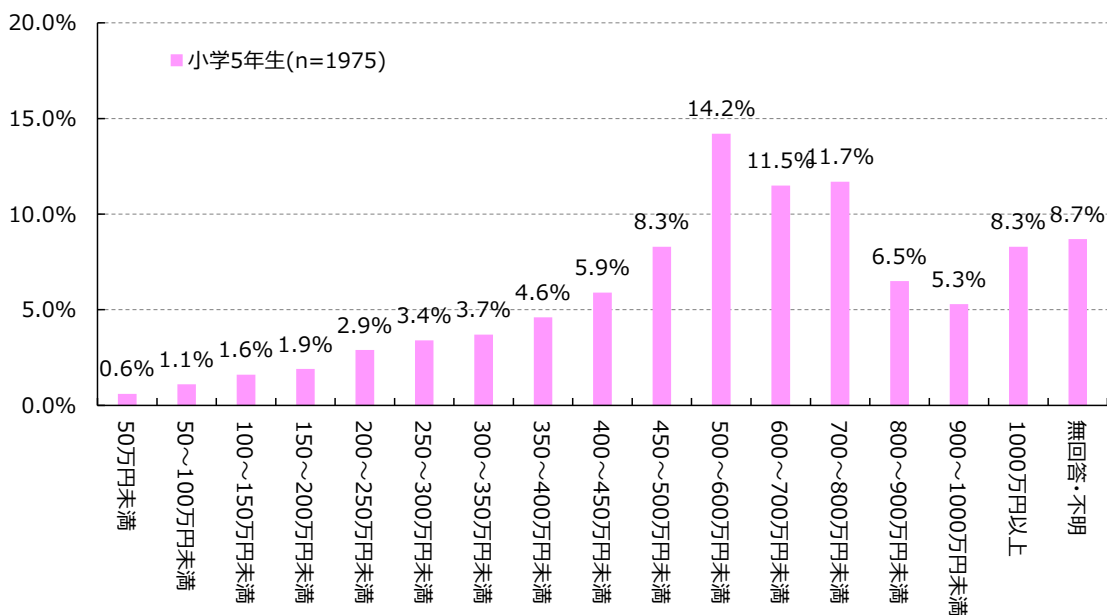


図2 世帯全員の年間収入(小学5年生)

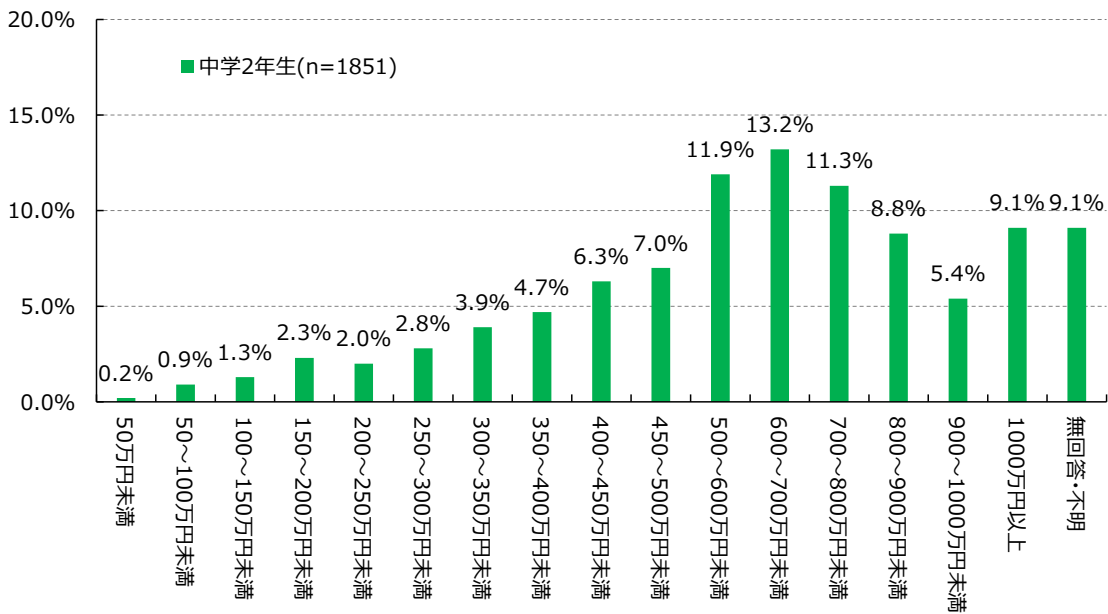
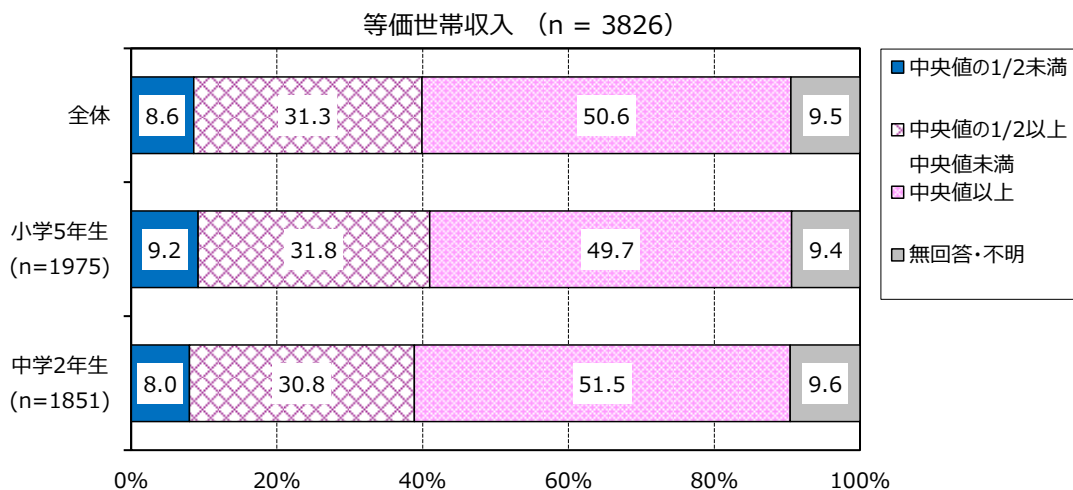


図3 世帯全員の年間収入（中学2年生）

また、得られた年間収入の結果を基に等価世帯収入による分類も行いました。結果は下記となります。

分類の結果、等価世帯収入の水準が貧困率の数字となる「中央値の1/2未満」は全体で8.6%、小学5年生で9.2%、中学2年生で8.0%でした。「中央値未満」（「中央値の1/2未満」と「中央値の1/2以上中央値未満」の合計）は、どの層においても約40%程度となりました。

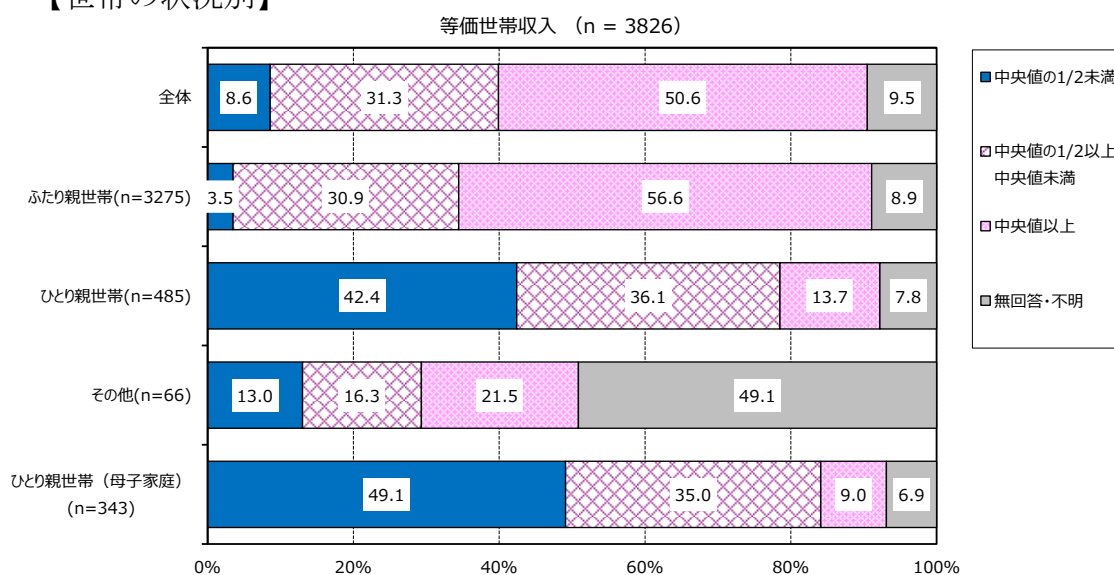
【全体（学年別）】



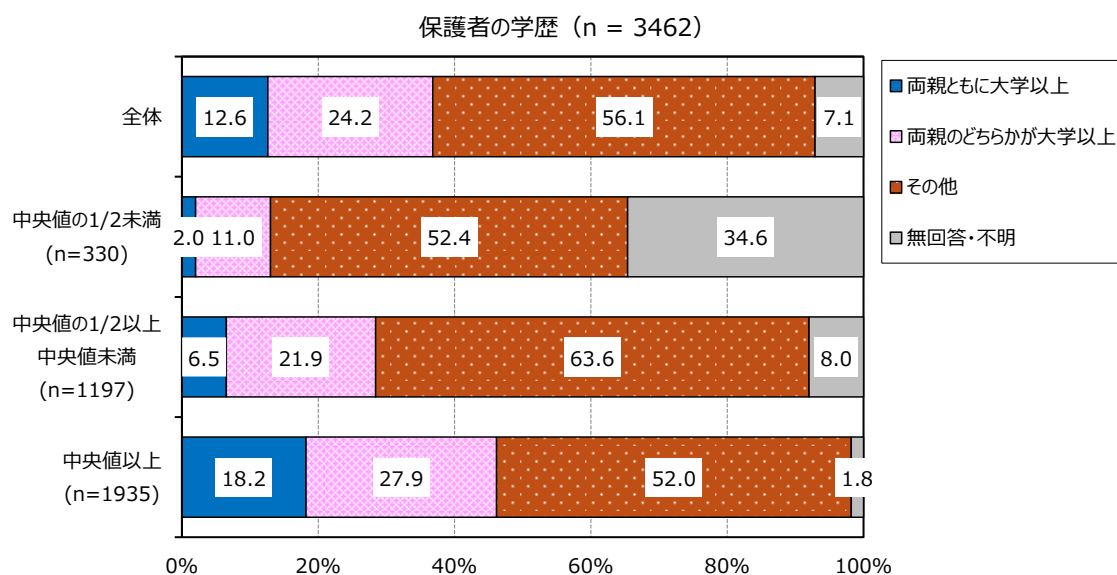
世帯の状況別に等価世帯収入の分類を行った所、下記の結果となりました。

「中央値の1/2未満」の割合は、ひとり親世帯で42.4%、ふたり親世帯で3.5%となっており、大きな差が見られました。また、「中央値未満」の割合はひとり親世帯で78.5%、ふたり親世帯で34.4%となっていました。ひとり親世帯のうち、母子家庭では「中央値の1/2未満」の割合は、49.1%、「中央値未満」の割合は84.1%となっており、ふたり親世帯よりもひとり親世帯、ひとり親世帯の中でも特に母子家庭で生活が苦しい状況が見受けられました。

### 【世帯の状況別】



母親と父親の最終学歴の組み合わせによる等価世帯収入の分類を行ったところ（下図参照）、「両親ともに大学以上」、「両親のどちらかが大学以上」では、等価世帯年収が下がるに従い、割合も減少する傾向が見られました。



## ②子どもの進学段階に関する希望・展望

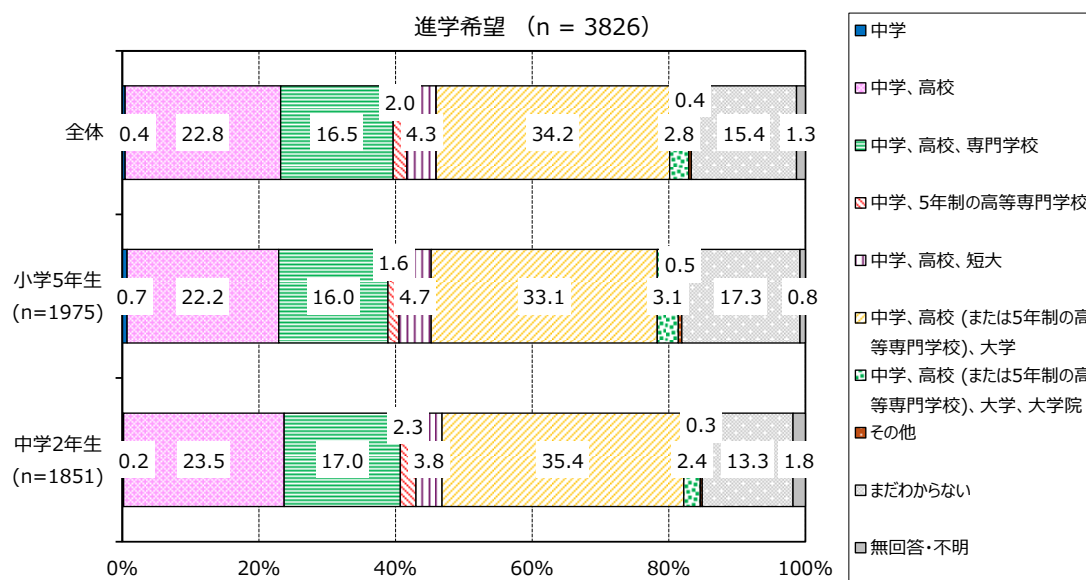
保護者票問15. お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。  
(あてはまるもの1つに○)

子どもの進学への期待、展望に関しては全体では「大学まで」が34.2%と最も多く、続いて「高校まで」(22.8%)、「専門学校まで」(16.5%)となりました。

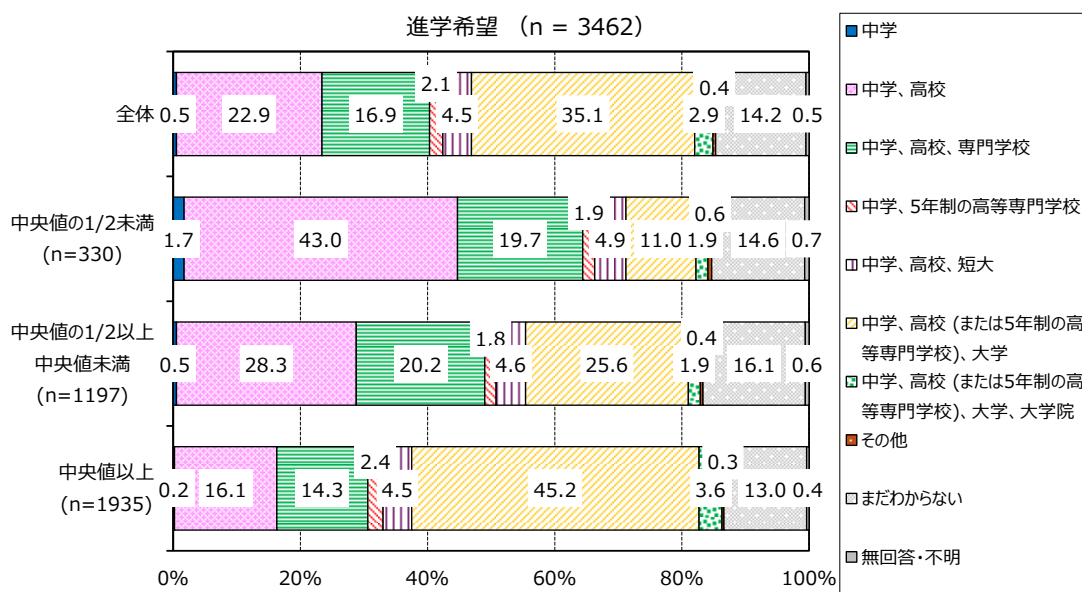
等価世帯収入別では、収入が増えるにつれて、「大学まで」の割合が増加し、「高校まで」の割合が減少していました。

世帯の状況別では、ひとり親世帯では「大学まで」が20.8%、「専門学校まで」が20.2%、「高校まで」が34.9%となりました。また、ふたり親世帯では「大学まで」が36.7%、「専門学校まで」が15.8%、「高校まで」が21.1%でした。

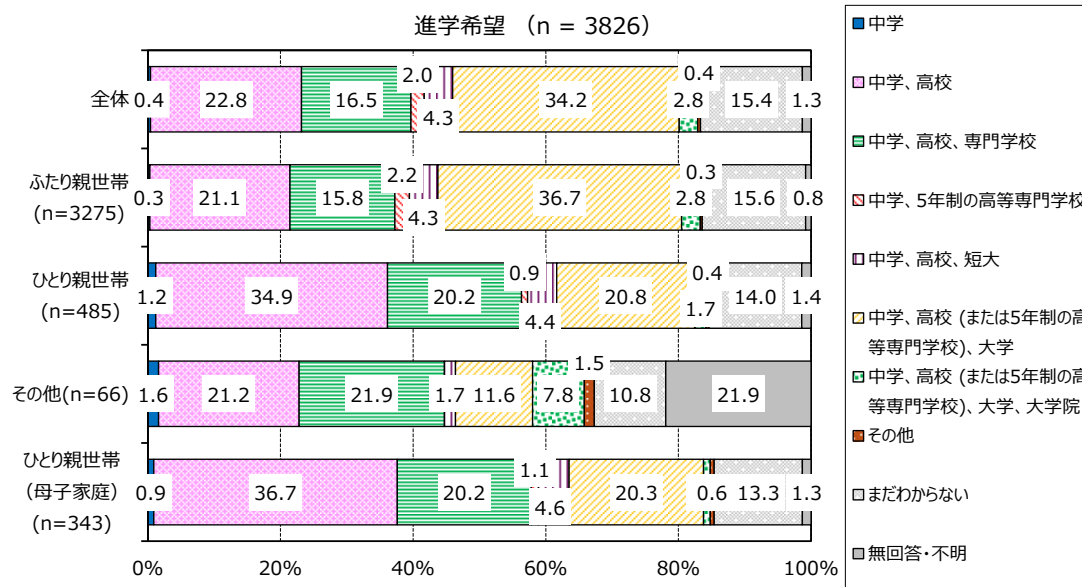
### 【全体（学年別）】



【等価世帯収入別】



【世帯の状況別】



### ③生活満足度

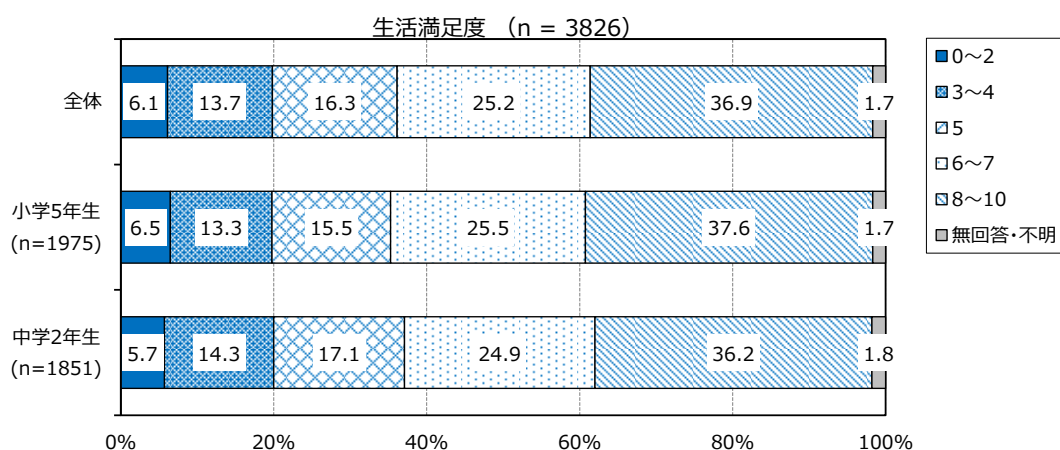
保護者票問 2 4. 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」(まったく満足していない)から「10」(十分に満足している)の数字で教えてください。

生活の満足度については、全体ではどの学年でも 60%以上が 6 点以上の満足となりました。

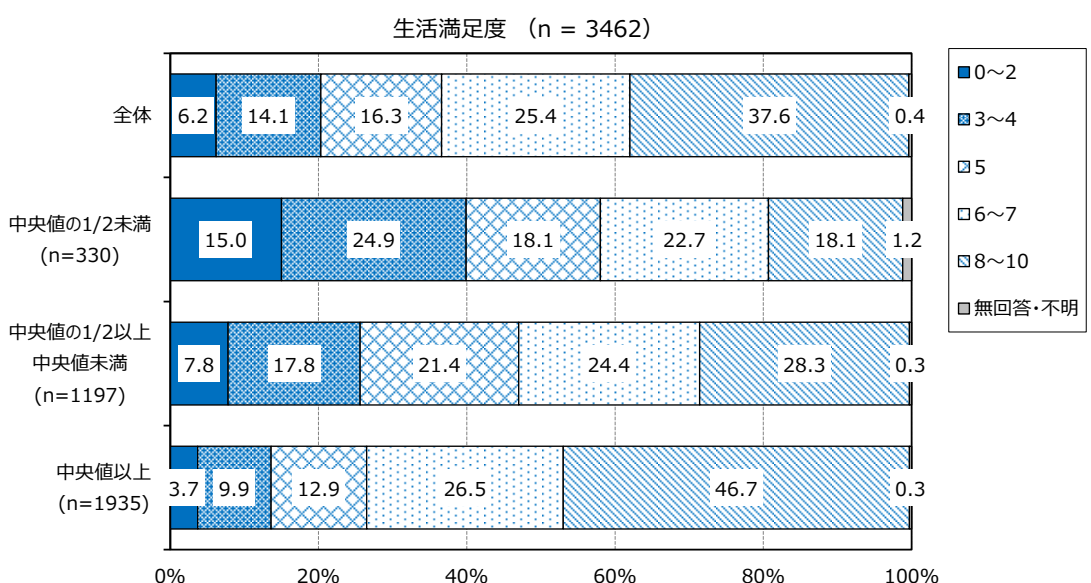
等価世帯収入別では収入が上がるに連れて、満足度も上がる結果となりました。

世帯の状況別では、ふたり親世帯で「4 点以下」は 17.8%となっており、ひとり親世帯では 34.6%と大きな差が見られました。

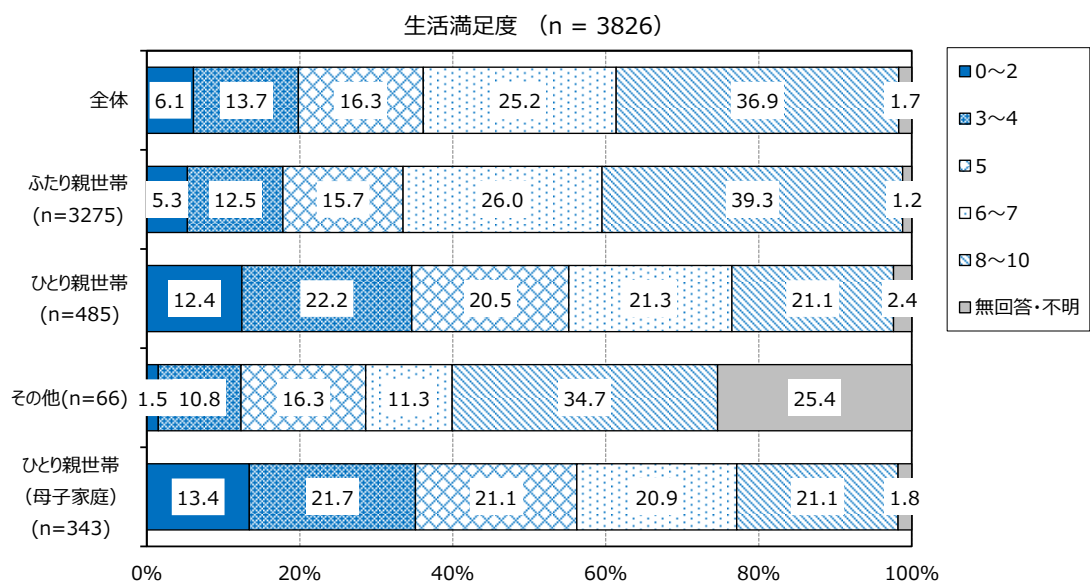
#### 【全体（学年別）】



#### 【等価世帯収入別】



【世帯の状況別】





## (2) 子どもの生活状況

### ① 1日あたりの勉強時間

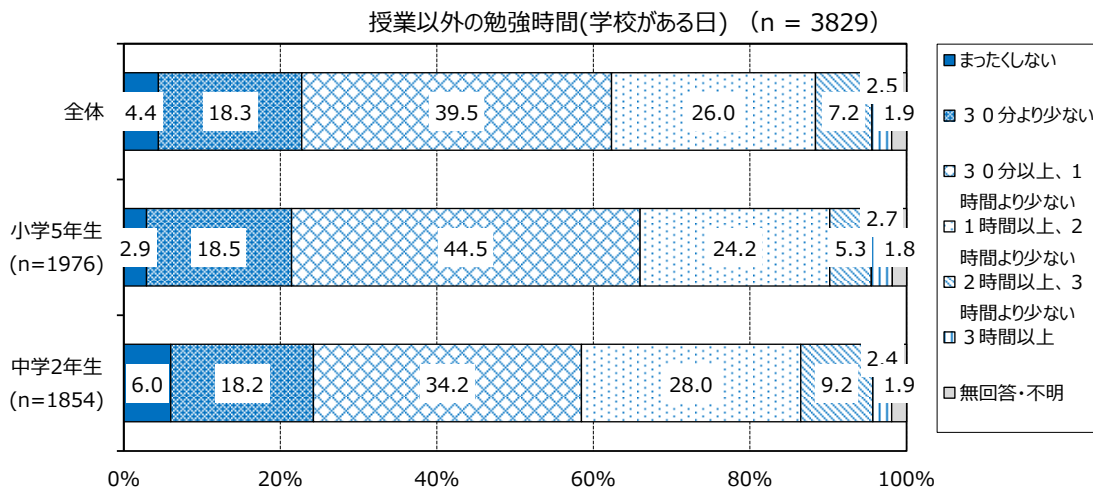
子ども票問2. あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。  
 ※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。  
 (a、bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)  
 a) 学校がある日(月～金曜日)

ふだん学校の授業以外の1日あたりの勉強時間について、全体では「まったくしない」が4.4%、「30分未満」が18.3%、「30分～1時間」が39.5%、「1～2時間未満」が26.0%、「2時間以上」は9.7%でした。

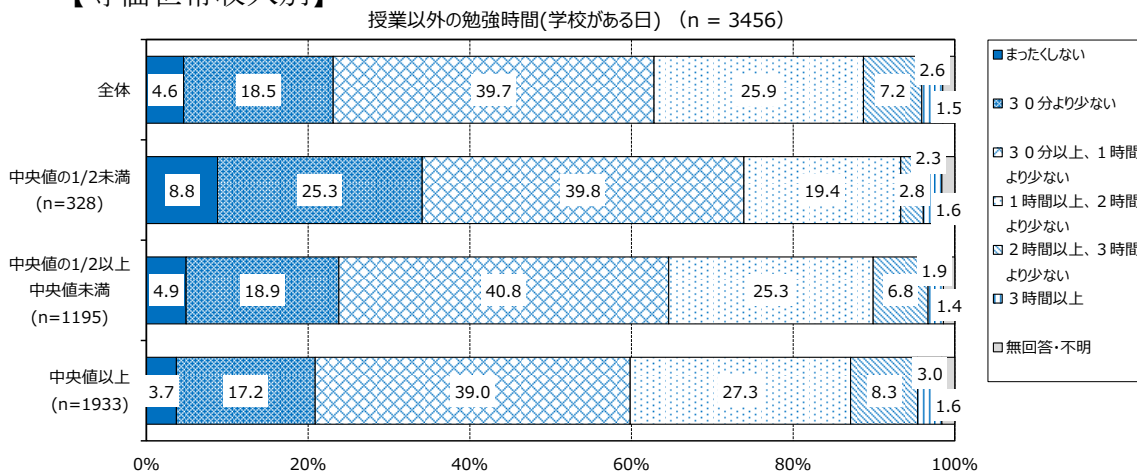
等価世帯収入別では収入が増えるに従い、「1時間以上」の割合が増加しました。

世帯の状況別ではふたり親世帯に比べ、ひとり親世帯では「まったくしない」「30分より少ない」の割合が多い傾向となっています。

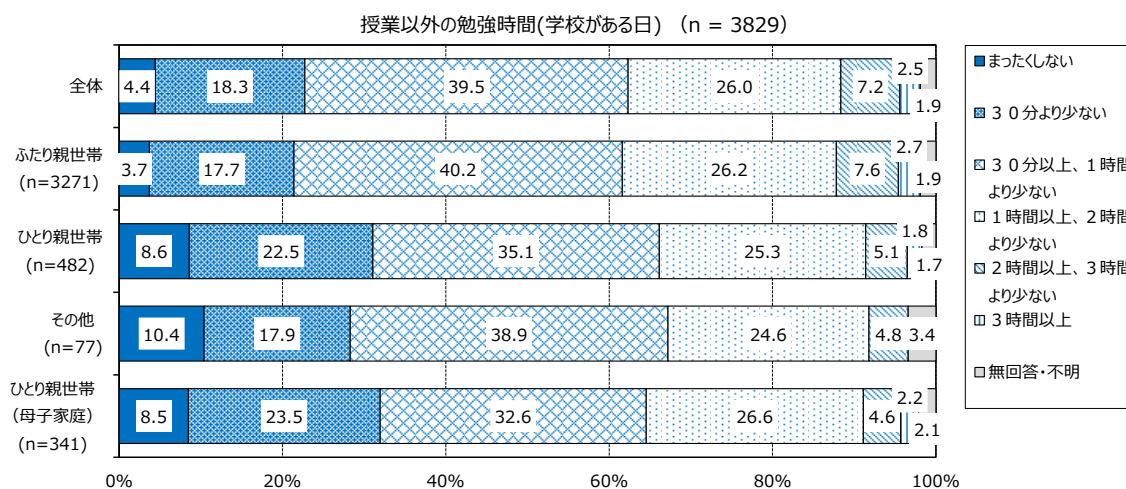
#### 【全体(学年別)】



#### 【等価世帯収入別】



## 【世帯の状況別】



子ども票問2. あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。

※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。

(a、bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

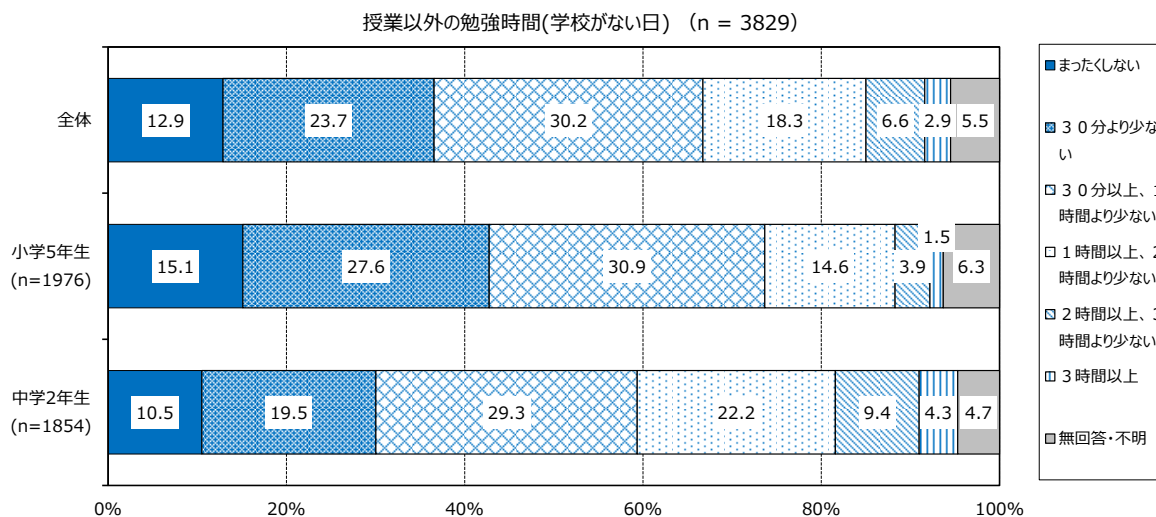
b) 学校がない日(土・日曜日・祝日)

学校がない日の勉強時間について、全体では「まったくしない」が12.9%、「30分未満」が23.7%、「30分～1時間」が30.2%、「1～2時間未満」が18.3%、「2時間以上」は15.0%でした。

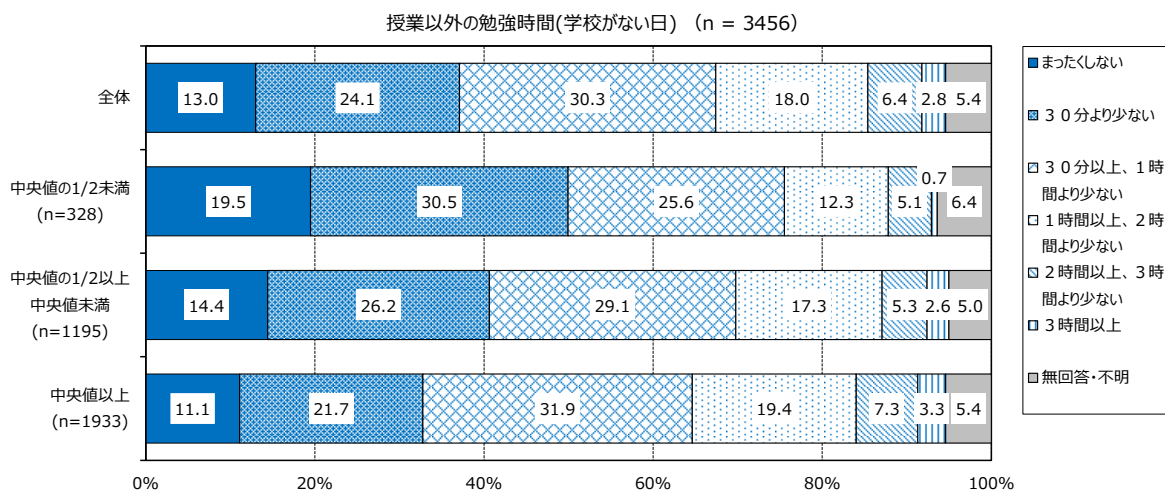
等価世帯収入別では平日と比べ、「まったくしない」「30分より少ない」の割合が多くなっています。

世帯の状況別では、ふたり親世帯に比べ、ひとり親世帯で「まったくしない」「30分より少ない」の割合が多い傾向となっています。

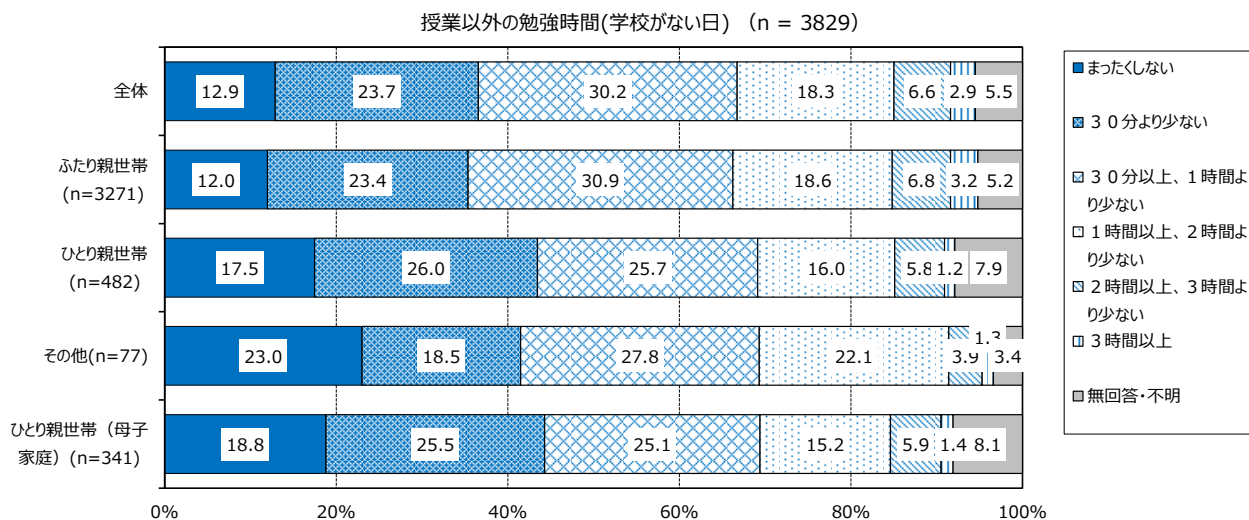
## 【全体(学年別)】



## 【等価世帯収入別】



## 【世帯の状況別】



## ②進学したいと思う教育段階

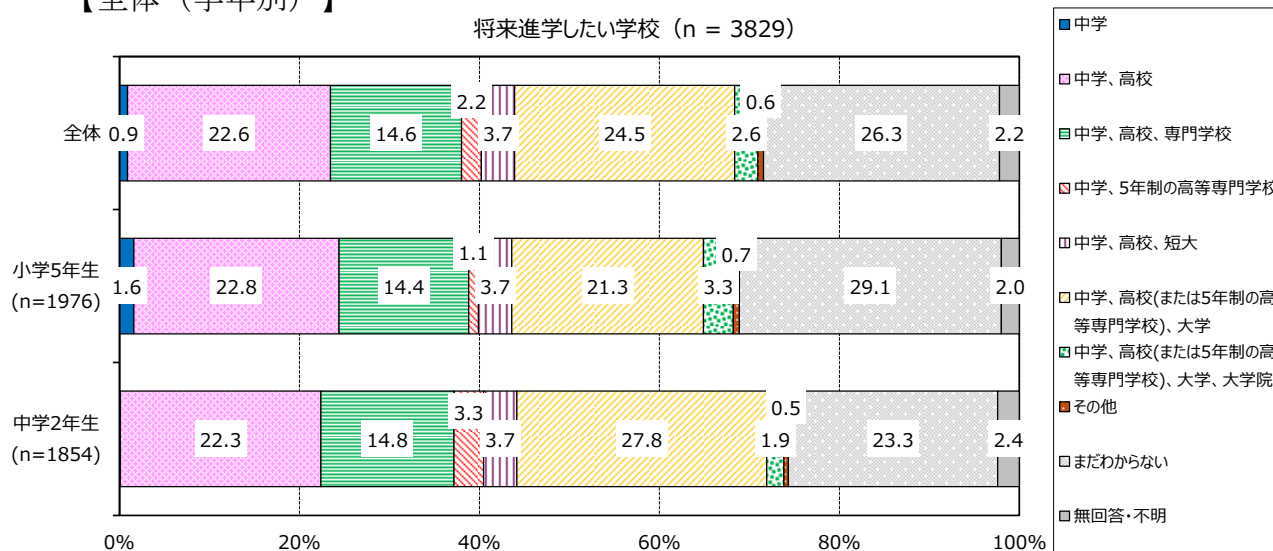
子ども票問6. あなたは、将来、どの学校に進学したいですか。  
(あてはまるもの1つに○)

将来どの段階まで進学をしたいかについては、全体では、「大学まで」が24.5%と最も多く、続いて「高校まで」が22.6%、「専門学校まで」が14.6%となりました。

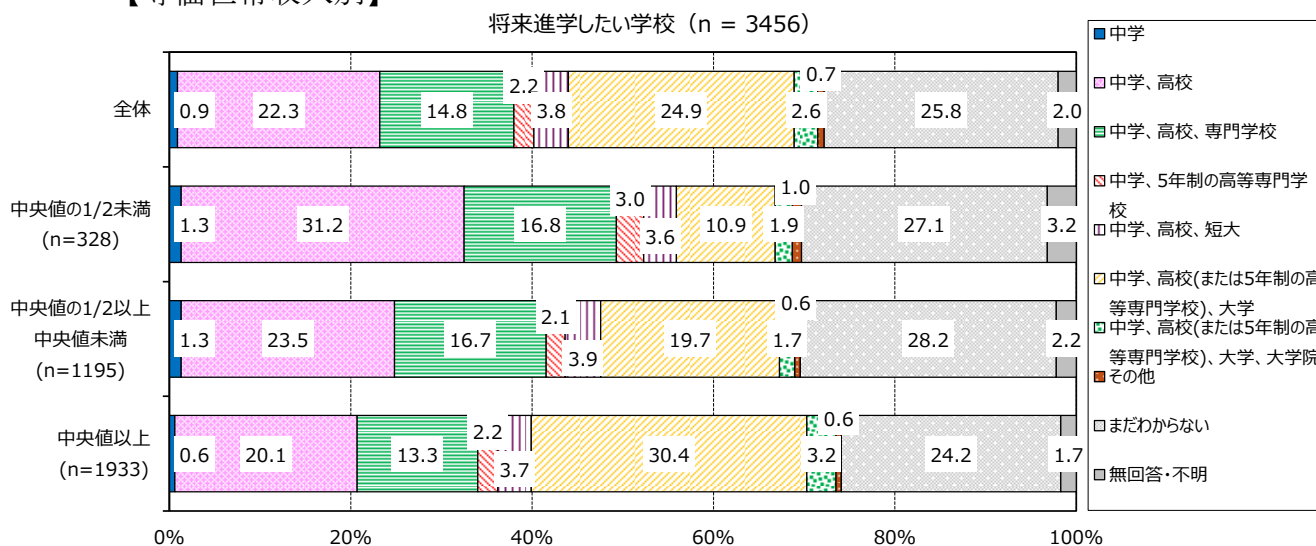
等価世帯収入別では、収入が増えるに連れて、「大学まで」が増え、「高校まで」が減少していました。これは保護者の進学段階の希望・展望と一致した動きとなっています。

世帯の状況別では、ひとり親世帯では、「大学まで」が16.6%、「専門学校まで」が17.7%、「高校まで」が27.6%となりました。また、ふたり親世帯では、「大学まで」が25.8%、「専門学校まで」が14.1%、「高校まで」が21.7%でした。

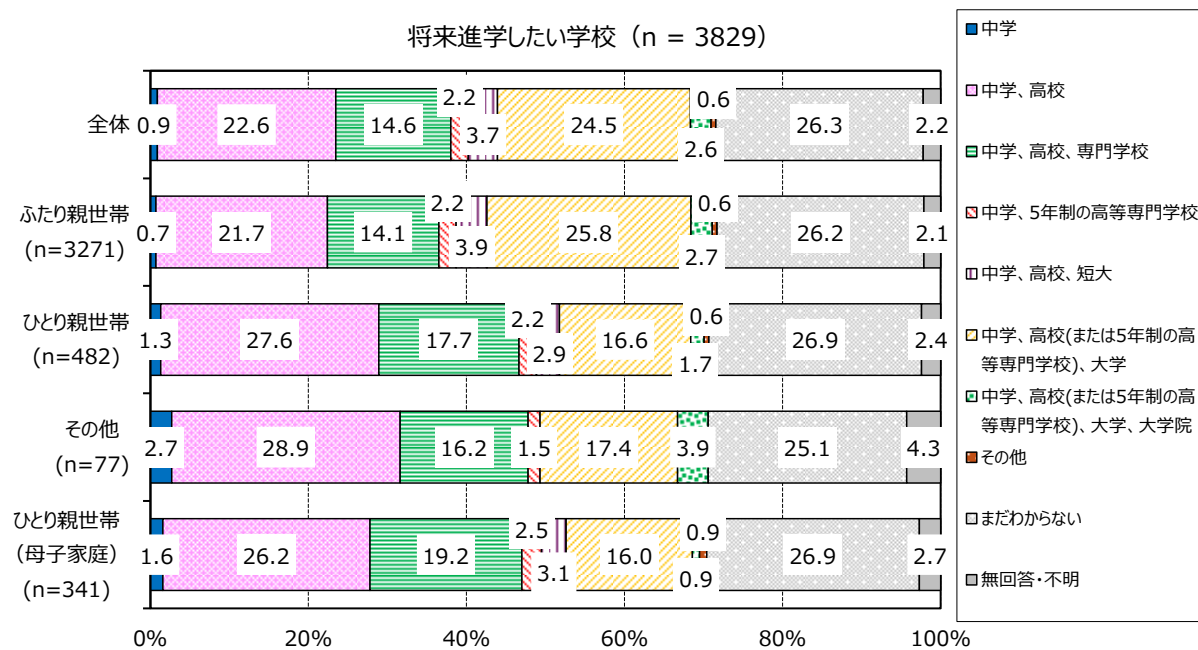
### 【全体（学年別）】



### 【等価世帯収入別】



【世帯の状況別】



### ③生活満足度

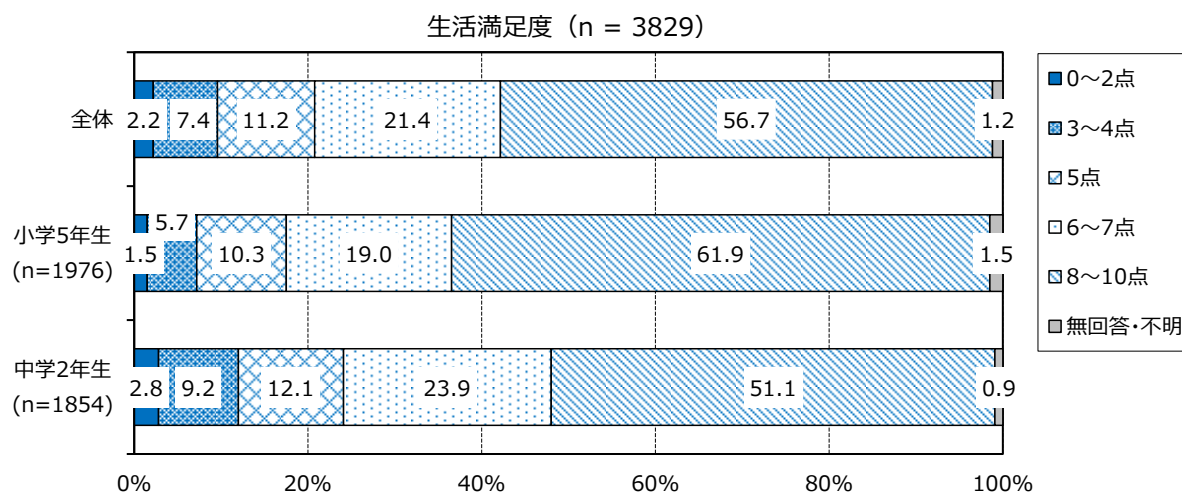
子ども票問13. 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。

生活の満足度は全体で「8～10点」が56.7%と50%を超えて、最も多い割合となりました。

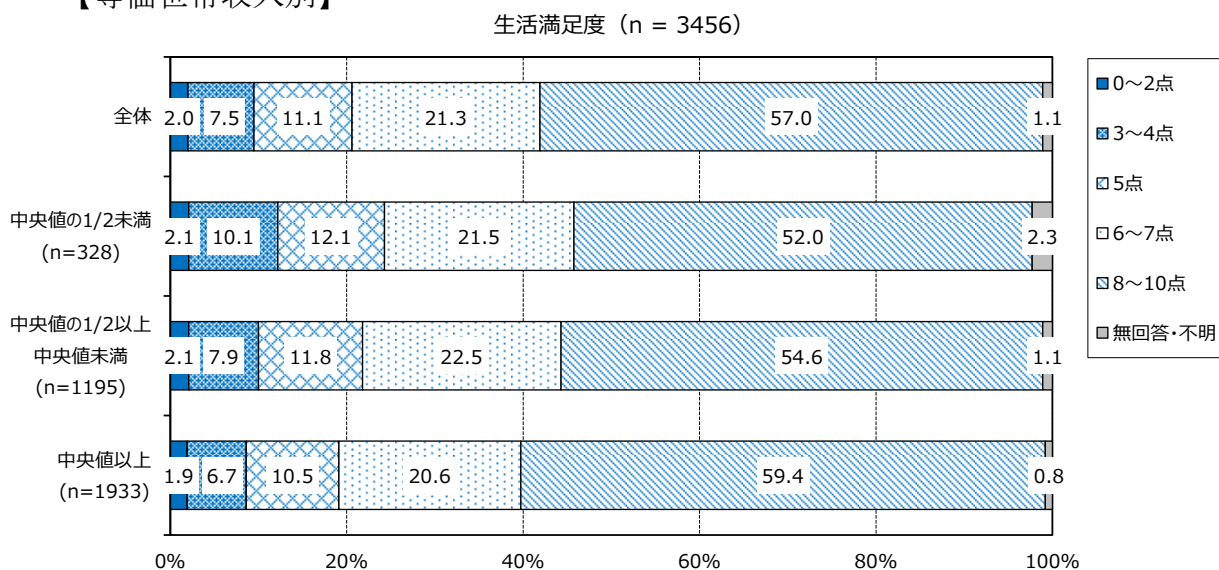
等価世帯収入別では、保護者の回答と同様に世帯収入が上がるに連れて、「8～10点」の割合が増える傾向がみられました。

世帯の状況別では、ふたり親世帯で「8～10点」が57.4%であり、ひとり親世帯で51.7%とふたり世帯の方が割合が多い結果となりました。

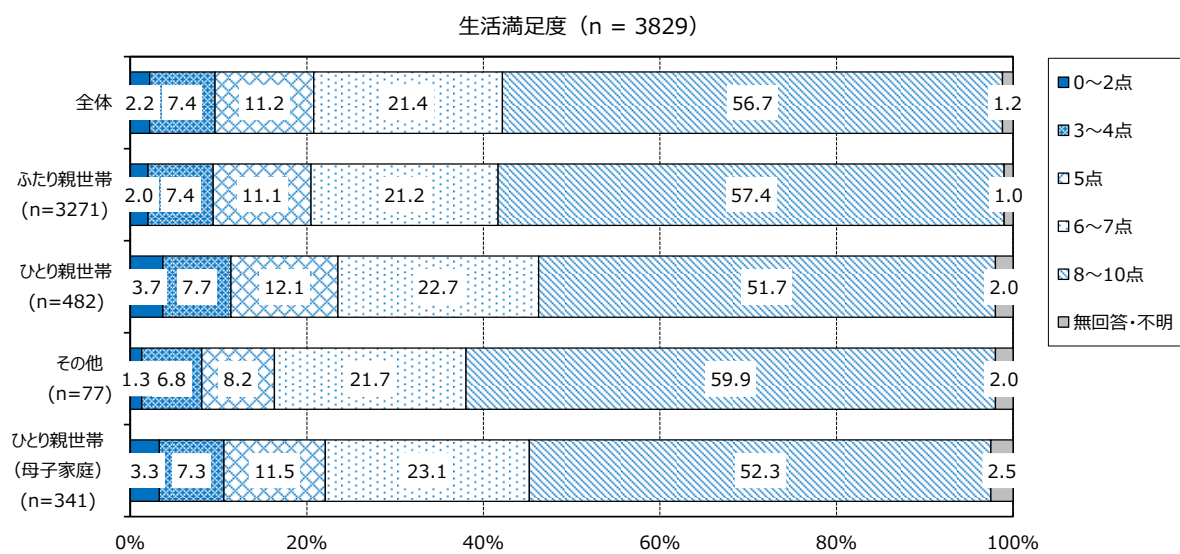
#### 【全体（学年別）】



#### 【等価世帯収入別】



【世帯の状況別】



#### ④学校生活の満足度

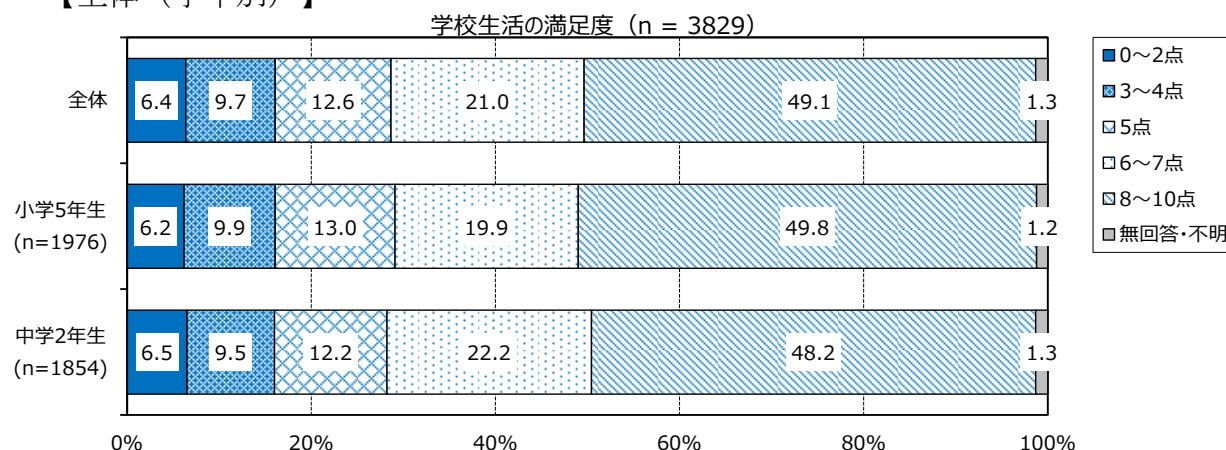
子ども票問13-1. あなたは最近の学校での生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。

学校生活の満足度は全体で「8～10点」が49.1%、「6～7点」が21.0%、「5点」が12.6%、「3～4点」が9.7%、「0～2点」が6.4%と満足度が高い割合が多い結果となりました。

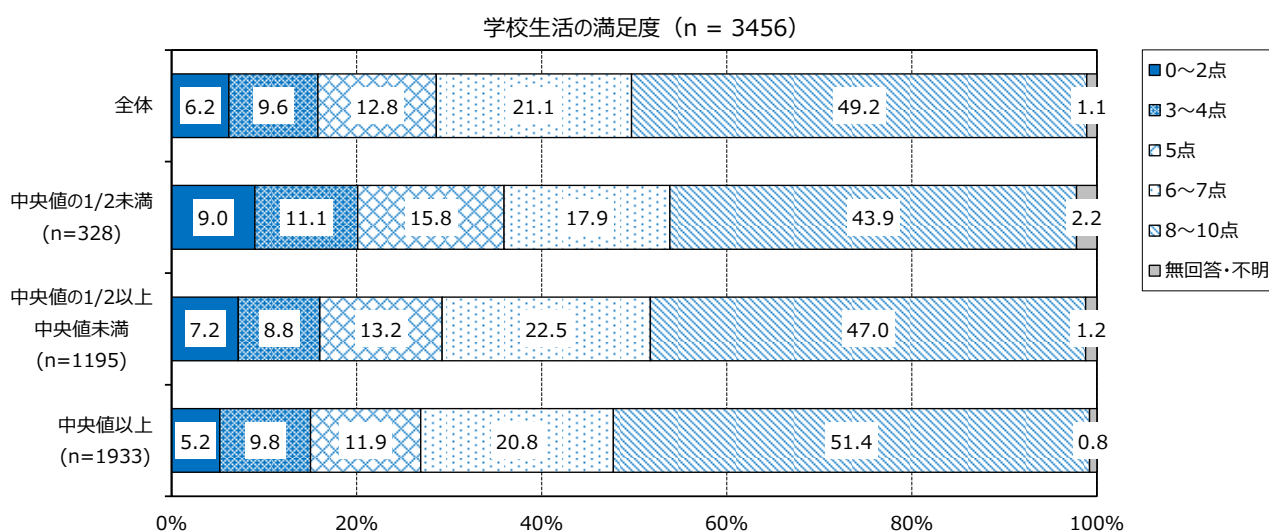
等価世帯収入別では、生活の満足度と同様に世帯収入が上がるに連れて、「8～10点」の割合が増える傾向がみられました。

世帯の状況別では、ふたり親世帯で「8～10点」が49.7%であり、ひとり親世帯で43.9%となっており、若干ひとり親世帯が低い結果となりました。

##### 【全体（学年別）】



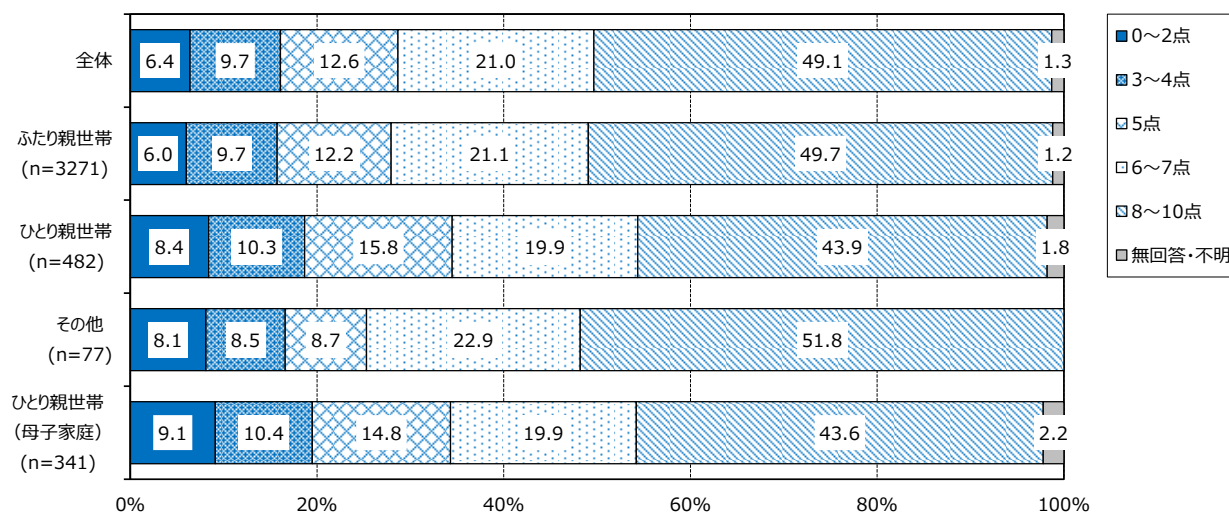
##### 【等価世帯収入別】





【世帯の状況別】

学校生活の満足度 (n = 3829)



## ⑤家庭生活の満足度

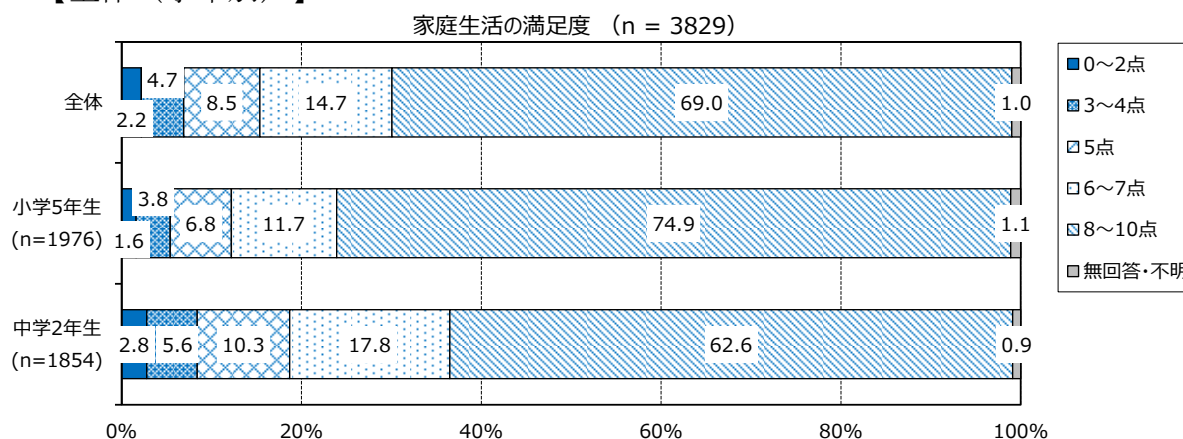
子ども票問13-2. あなたは最近の家庭での生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。

家庭生活の満足度においては、全体では「8～10点」が69.0%であり、小学5年生では「8～10点」が74.9%ととても多い結果となりました。

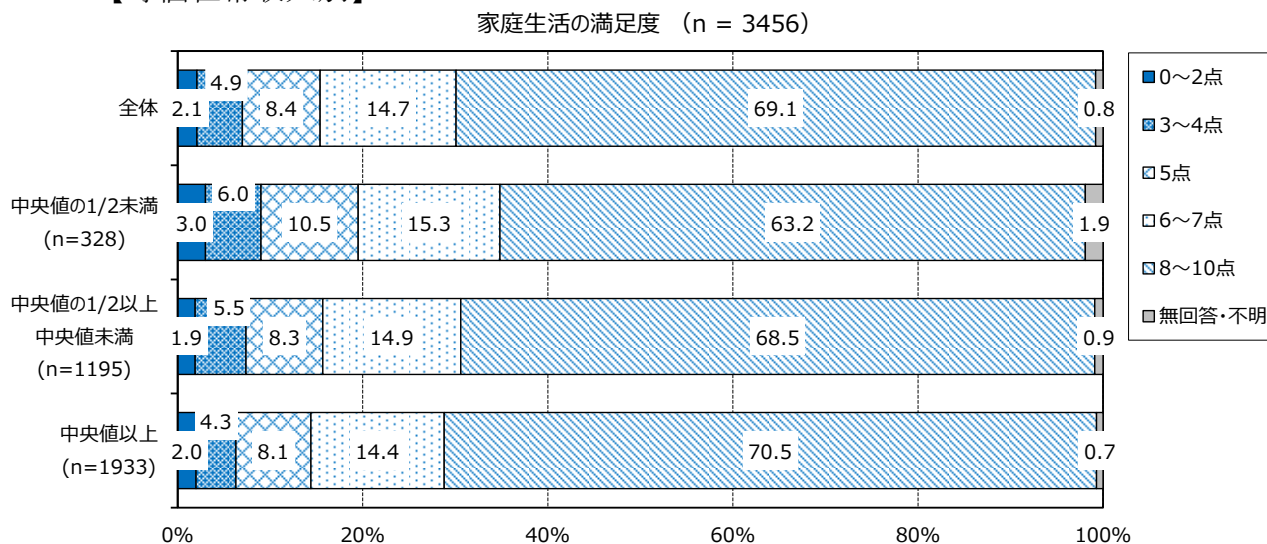
等価世帯収入別の中央値の1/2未満においても、家庭の満足度では「8～10点」が63.2%と多い割合となりました。

世帯の状況別のどの世帯においても「6点以上」は80%以上と高い評価となりました。

### 【全体（学年別）】



### 【等価世帯収入別】



【世帯の状況別】

家庭生活の満足度 (n = 3829)

